

令和5年上半期分 名古屋港貿易概況（速報）の要旨

令和5年上半期分について、輸出額は「自動車の部分品」などが減少したものの、「自動車」、「半導体等製造装置」などが増加したことから、対前年同期比5.8%の増加となった。また、輸入額は「アルミニウム及び同合金」などが減少したものの、「原粗油」、「絶縁電線及び絶縁ケーブル」などが増加したことから、同5.5%の増加となった。

その結果、差引額は3兆4,678億円（同6.1%の増加）となった。

注) 本資料中の「伸率」及び「増加・減少」は、前年同期比による

また、★印は名古屋港において全ての期を通じて過去最高を示す（1979年上半期以降のデータを基礎として比較）

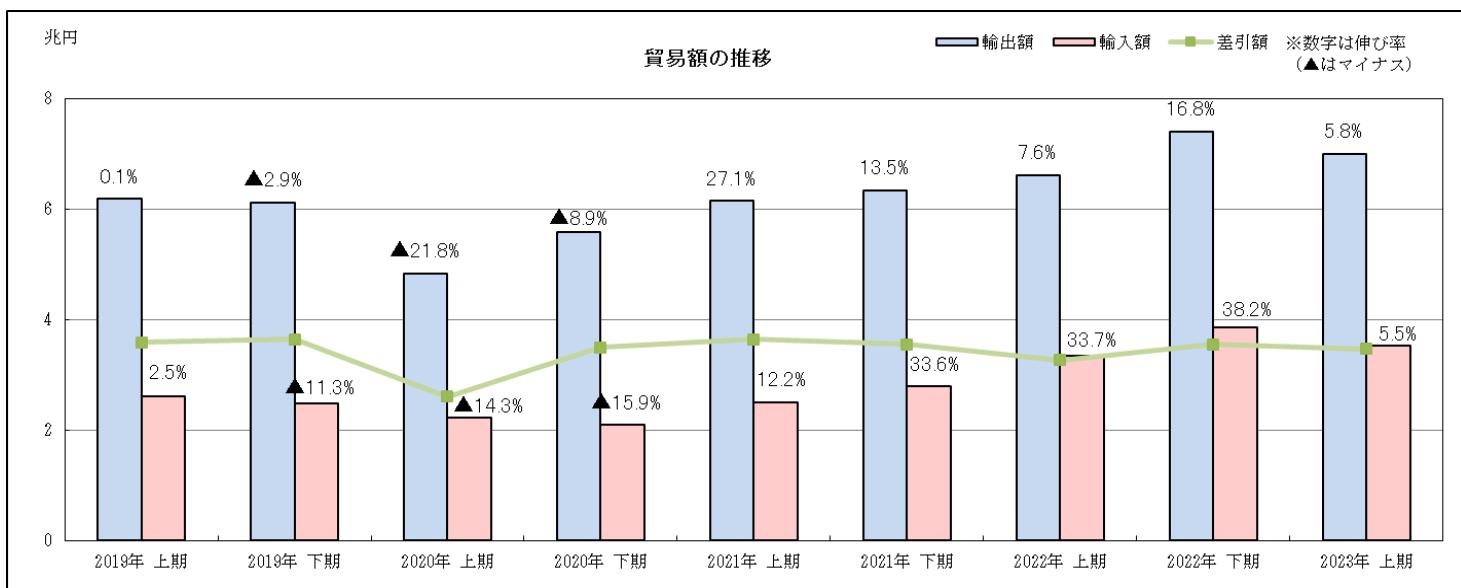
○総額

区分	輸出額	伸率	輸入額	伸率	差引額	伸率
名古屋港	6兆9,961億円	+5.8%	3兆5,284億円	+5.5%	3兆4,678億円	+6.1%
	5期連続の増加		5期連続の増加		2期連続の増加	
管内（名港シェア）	10兆9,318億円 (64.0%)		6兆8,267億円 (51.7%)		4兆1,051億円 (—)	
全国（名港シェア）	47兆3,539億円 (14.8%)		54兆3,143億円 (6.5%)		▲6兆9,604億円 (—)	

注) 名古屋港における差引額は、1998年上期以降（51期連続） 全国港別（空港を含む）第1位

○主な増減品目

		概況品名	金額	伸率	寄与度	増減
輸出	増加(1)	自動車	★ 2兆1,055億円	+37.8%	+8.7	5期連続の増加
	(2)	半導体等製造装置	★ 1,288億円	+59.7%	+0.7	6期連続の増加
輸入	減少(1)	自動車の部分品	9,072億円	▲14.4%	▲2.3	5期ぶりの減少
	増加(1)	原粗油	2,349億円	+32.1%	+1.7	5期連続の増加
減少(1)	(2)	絶縁電線及び絶縁ケーブル	★ 1,954億円	+18.1%	+0.9	5期連続の増加
		アルミニウム及び同合金	1,608億円	▲25.0%	▲1.6	5期ぶりの減少



★名古屋港について・・・

本資料における名古屋港の数値は、輸出入された貨物の蔵置場所を管轄する次の税関官署を基準に集計しています。

名古屋港の税関官署とは、名古屋税関本関（含岐阜政令派出所）、中部外郵出張所、南部出張所、諏訪出張所（含長野政令派出所）、西部出張所をいいます。